

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

商業科「情報探究（3年普通科総合進学商大・総合型コース）」	単位数	4単位	学科	普通科
	学年	3	組	D～E

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。
-------	--

育成する資質能力	「向上心」「自己肯定感」「思考力」「表現力」
----------	------------------------

学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」
------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	定期考査 実技テスト 小テスト	定期考査 実技テスト 小テスト	ノート提出 授業態度
配分	50%	30%	20%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
第1学期	<p><情報処理分野></p> <p>1章 企業活動とソフトウェア活用</p> <p style="padding-left: 20px;">1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用</p> <p style="padding-left: 20px;">2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化</p> <p><ITパスポート分野></p> <p>1章 コンピュータシステム</p> <p style="padding-left: 20px;">1 コンピュータの構成要素</p> <p style="padding-left: 20px;">2 ソフトウェア</p> <p>2章 コンピュータはどのように動くのか</p>	<p><情報処理分野></p> <p>・ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を考える学習活動により、関連する知識を身に付けていきます。</p> <p>・Society 5.0が実現しようとしている社会について考察し、ソフトウェアの活用例と目的を理解していきます。</p> <p><ITパスポート分野></p> <p>・コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について学習していきます。</p>	<p>・全商ビジネス文書検定2級の受験が可能</p> <p>・ITパスポートの受験が可能</p>

	1 コンピュータの考え方 2 統計の基礎 3 アルゴリズムとプログラミング	・目的に応じた適切な計算やビジネスにおける需要予測などの傾向をとらえる力を学習していきます。	
第2学期	<情報処理分野> 3章 表計算ソフトウェアの活用 1節 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 2節 表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ <ITパスポート分野> 3章 PCを使うために必要な技術 1 マルチメディア 2 データベース 3 コンピュータシステム 4 ネットワーク 5 セキュリティ 4章 システム開発とマネジメント 1 システム開発 2 ITにかかわるマネジメント	<情報処理分野> ・表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付けていきます。 <ITパスポート分野> ・通信ネットワークの仕組みや役割について学習していきます。 ・システムがどのようなプロセスを経て開発されるかを理解するために、要件定義、設計、プログラミング、テストなどのプロセスの流れを知り、見積りやレビューの考え方を学習していきます。	・全商情報処理検定2級の受験が可能 ・ITパスポートの受験が可能
第3学期	なし	なし	なし

使用教科書	なし
副教材	技術評論社『令和07年 イメージ&クレーバー方式でよくわかる かやのき先生のITパスポート教室』 技術評論社『令和07年 かやのき先生のITパスポート教室準拠 書き込み式ドリル』 実教出版『令和7年度版全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集2級』 東京法令出版『全商情報処理検定試験 パスポート 2級ビジネス情報編(2025年度用)』

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	技術革新が常に起こり、次から次へと新しい技術が開発されています。 今回の授業では生活の中で当たり前に使われている技術について触れます。授業で扱った内容がどんな部分に使われているのかを探してみましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	必ず予習が必要になります。自宅で予習をしてください。
その他のアドバイス	いろいろな大学進学で使える「ITパスポート」を取得することができます。 ITパスポートの取得を目指している人は自宅で過去問演習を繰り返してください。